

学長挨拶

神戸学院大学学長 佐藤 雅美

本日は、神戸学院大学大学院心理学研究科開設記念フォーラムに参加していただき、本当にありがとうございます。大学を代表して御礼を申し上げます。

神戸学院大学の心理学研究科は、この4月、修士課程19名、博士後期課程1名の入学を得て、順調にスタートを切りました。2018年度に開設した心理学部と併せて、新しくできた国家資格の公認心理師を養成するプログラムがととのったということは、県下でも非常に珍しく、これからは、学部、大学院そろって公認心理師養成に貢献していきます。

本日は、大変お忙しいなか、東京大学から丹野義彦先生にお越しいただき、記念のフォーラムを開催できることを、主催者、本学の代表者として本当にうれしく思っています。そして、開設記念にふさわしいフォーラムになることを期待しています。

神戸学院大学は、1966年(昭和41年)、初代学長の森茂樹博士が掲げた「真理愛好・個性尊重」という建学の精神に基づいて設立されました。森茂樹博士は、体質医学の権威で、熊本大学に研究室を設置し、現在の山口大学医学部の前身である山口県立医科大学の設立にも非常に大きく貢献しました。

そういう意味で、初代学長の森茂樹博士の思いは、やはり、医療系の学部・学科を備えた総合大学を設立することだったと思います。私は、お会いしたことはありませんので、直接は聞いていませんが、さまざまな記録を見ると、国立大学にはない、ユニークな私立総合大学を目標にされていたことがわかります。

当初、有瀬キャンパスは、栄養学部だけの単科大学としてスタートしましたが、翌年には法学部、経済学部、1972年には森茂樹博士が強く念願していた薬学部が設置されました。ただ、森博士本人は、その設置を見ることなく亡くなりました。その後、1990年には人文学部ができました。20世紀の間は、この文系3学部、理系2学部という体制で着実に発展しました。21世紀に入り、総合リハビリテーション学部、文系でも幾つかの学部がととのい、昨年、本学で第10番目の学部として心理学部が立ち上がりました。それを受けて、完成年度を迎えるまでもなく、今年度から心理学研究科がスタートしました。

公認心理師という、医療系にかなり接近したかたちの国家資格者を養成するということで、医療系へのこだわりを非常に強く持っていた初代学長の森茂樹博士も、非常に喜んでおられるのではないかと推測しています。

今日も修士課程の1期生の人たちが参加していると思います。大きなプレッシャーを感じているかもしれません。心理学研究科は公認心理師を養成するということで、これからその結果が問われることになります。

ただ、1期生の皆さんには、それを重荷に感じ、プレッシャーになり過ぎるのではなく、公認心理師は、まだ新しい資格ですから、「自分たちがパイオニアとなって新しい道を開いていこう。公認心理師という資格を持って、社会の中で活躍の場をつくっていこう」というぐらいの気概を持って、ぜひ頑張ってもらえればありがたいと思います。また、先生方も、それに応えて非常に力強くサポートしてくださると思っています。

本日、このようなかたちでフォーラムが開催できるということで、参加していただいた皆様方にも、このフォーラムが実り多いものになりますように、そして、今後、心理学研究科が公認心理師を生み出し、社会にますます貢献できますように、さらに、神戸学院大学も、それを通じて社会の中で存在価値の高い大学として、これからますます発展していきますように、私どもも努力していきたいと考えていますので、どうぞよろしく願います。